

残席わずか

ヒューマンエラー防止のための品質マインドの向上方法と改善活動（4119226）

ルールを強化するだけでは「失敗の構図」をつくり出すだけである

ヒューマンエラー防止のための品質マインド醸成方法と改善活動

～負の連鎖を断ち切る鍵は「わくわく」感と「人間重視の仕組」に有り～

～「人間力の醸成と発揮」を促す「人を動かす仕組」の考案

本セミナーは「命令でヒューマンエラーを防止することは難しい」、人間は外的要因ではなく内発的な『意欲』や『やりがい』によって動機付けされるとの理念に基いて構成しています。「ケーススタディ」や「ワークショップ」を楽しく体験しながら「品質マインド醸成法」、「動機付け法」等について学んでいただくと共に、セミナー教材を職場で即、活用できる内容にいたします。

開催日時	2019年10月16日(水) 10:00-17:00
カテゴリ	15運用 業務実行スキル 詳しく見る
講師	岡田 亮 氏 【ヒューマンのオリティ・ラボ 代表、元 富士通（株）人材開発部 シニア・レクチャラー 上級教育士（工学）】 成城大学工学部経営工学科を卒業し、富士通（株）入社。品質検査部門、教育訓練部門を経てシステム開発部門において通信・金融・官公庁等のシステム開発マネージメントに携わる（途中、未来工学研究所主任研究員）。近年、品質問題を抱える本部組織の品質改善に従事し（主務部長、品質保証部長）、S1分野で日本初のCMM&OEM1レベル5を達成、社長賞&最高品質賞を受賞。20年後を展望し、現社人材開発部門において「わくわく」元気を高める品質改善講座を開講。多くのマネージャーおよびリーダーが品質改善プロフェッショナルを育成。2011年、富士通を退職。その後、「人間力醸成」を基盤にした各種セミナー・講演・企業研修・コンサル等、3万人以上の方々への指導を行っている。 ■著書：「人間重視の品質マネージメント ソフトウェア品質保証システムの構築と実践」（S R C）：堀田 隆興、岡田 亮、岡田 幸生 ■特許庁工業新発明特許「工場管理」2018年2月号に講師の「人間重視のヒューマンエラー防止法」についての特許記載が掲載。 【注】OEM・世界的に著名な企業数社で Capability Maturity Model 及びCMM1 are registered in the U.S. Patent and Trademark Office.
参加費	J U A S 会員/110：33,000円 一般：42,000円（1名様あたり 消費税込み、テキスト込み）【受講権利枚数1枚】
会場	一般社団法人日本情報システム・ユーザー協会（日本橋区堀田2丁目ビル2階）
対象	開発・運用・サービス・事務部門、品質保証部門、教育部門、設計・製造と研究・企画部門等、多分野のリーダー、マネージャー、改善活動推進者、管理職&経営層等（多くの悩んでいる方々を歓迎）。 詳しく見る
開催形式	講義・個人演習
定員	30名
取得ポイント	※110実践ポイント対象のセミナーです。（2時間1ポイント）
110鑑定時間	6

主な内容

ルールを強化するだけでは「失敗の構図」をつくり出すだけである

「ヒューマンエラー防止のための品質マインド醸成方法と改善活動」

～負の連鎖を断ち切る鍵は「わくわく」感と「人間重視の仕組」に有り

～「人間力の醸成と発揮」を促す「人を動かす仕組」の考案

ヒューマンエラーが発生すると、要領等を強化して反省を迫り、言われたことしかやらない「考えない集団」を生み出し、見事に「負の連鎖」を繰り返してしまいます。ヒューマンエラーは『誰が起こすのか』・・・人間です。『誰が防げるのか』と問えば・・・『人間が防げる』との考えに帰着するのです。「負の連鎖」を断ち切る鍵は人間にあるのです。

本セミナーは「命令でヒューマンエラーを防止することは難しい」、人間は外的要因ではなく内発的な『意欲』や『やりがい』によって動機付けされるとの理念に基いて構成しています。「ケーススタディ」や「ワークショップ」を楽しく体験しながら「品質マインド醸成法」、「動機付け法」等について学んでいただくと共に、セミナー教材を職場で即、活用できる内容にいたします。講師はSI分野で日本初のCMMレベル5を達成したシステム開発・運用分野の経験者ですが、過去に製造・化学・医療・運輸、原子力発電所等幅広い分野への指導を行ってきております。

■受講後の修得知識：

「負の連鎖を断ち切る鍵」、「ヒューマンエラー防止」のための人的側面の特性、ヒューマンエラー防止のための「品質マインド醸成法」など

■内容

第1章 ヒューマンエラーと人間重視

1. 1 ヒューマンエラー防止活動の基盤

1. ヒューマンエラー防止活動と「会社人生の選択」
2. 人間のタイプと改善活動

1. 2 ヒューマンエラー防止と本セミナーの主張

1. 従来手法でエラーを防ぐことは出来るのか
2. ヒューマンエラー防止のための本セミナーの主張
3. 人間の本質と人間重視

第2章 失敗を繰り返さないための「人間力の醸成」

第3章 ヒューマンエラーと人間関係

3.1 ヒューマンエラーと人間関係

1. 演習1：「トラブルと人間関係」
2. 「心理学的な知恵」と人間関係の向上

3.2 人を動機付けする（動かす）仕組考案のコツ

1. 人間重視の思考パターン
2. 演習2：「人を動かす仕組の考案」

3.3 「動機付けする」ケーススタディ

1. 演習3：「ケーススタディ：動機付け」

3.4 失敗した際の部下の指導法

1. 演習4：「コーチング」診断
2. メンタリングとコーチング
3. 改善活動への動機付け（人を動かす再発防止策1）

第4章 ヒューマンエラー防止のための「リスクマインド醸成」 ケーススタディ

4.1 「失敗の構図」と「品質問題の発生」

4.2 簡単にできる「問題発生防止」ケーススタディ

1. 「問題管理」と「リスク管理」の相違
2. 演習5：「ヒューマンエラーとリスクマインド」

4.3 「リスク管理の仕組」事例

1. 人を動かす「リスク管理」の仕組事例
2. リスク管理ミーティングの例
3. 負の連鎖と品質問題の解決
4. リスクマインドの醸成（人を動かす再発防止策2）

第5章 ヒューマンエラー防止のための「品質マインド醸成」 ワークショップ

5.1 ミスを防ぐ「品質&改善マインドの醸成」

1. 「品質&改善マインド」の醸成事例
2. 演習6：「品質&改善マインド」の醸成

5.2 「わくわく」感を生み出す全員参加型改善活動

1. 人を動かす「全員参加型改善活動」の仕組事例
2. 品質マインドの醸成（人を動かす再発防止策3）

第6章 失敗を繰り返さないための「動機付け法&実践法」

6.1 「動機付け」の勘所

6.2 「気持ちへの動機付け」

6.3 「行動への動機付け」

1. 現場での「動機付け」サイクリカル理論
2. 演習7：「気楽に実践する実践計画の策定」

6.4 「持続への動機付け」

第7章 まとめ

（注）ケーススタディやワークショップを体験いただき、現場で即、役立つ内容にしたいと考えております。